2026年12月期　第3四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕(連結)

2026年11月6日

上場会社名　ライオン株式会社　　上場取引所　東

コード番号　4912　　URL　https://www.lion.co.jp/ja/

代表者　(役職名) 代表取締役兼社長執行役員　(氏名) 竹森　征之

問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　経理部長　(氏名) 竹生　昭彦　(TEL) 03-6739-3711

配当支払開始予定日　―

決算補足説明資料作成の有無　:有

決算説明会開催の有無　:有　(機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	325,413	6.7	31,285	12.4	33,772	13.3	20,937	△9.8	17,977	△13.6	23,477	4.6
2025年12月期第3四半期	304,945	1.3	27,829	62.7	29,797	52.2	23,210	59.1	20,813	64.3	22,437	8.8

(注)事業利益　2026年12月期第3四半期　25,706百万円(15.2%)　2025年12月期第3四半期　22,320百万円(19.9%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	64.97	64.91
2025年12月期第3四半期	75.25	75.18

(2)連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	532,212	361,445	335,529	63.0
2025年12月期	528,596	348,419	322,726	61.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	15.00	―	15.00	30.00
2026年12月期	―	17.00	―		
2026年12月期(予想)				17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	1.9	40,000	10.0	25,000	△9.4	90.38

(注)1．事業利益　通期　35,000百万円

2．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：有

新規 8 社 （社名）PNB Consolidated Pty Ltd他
除外 2 社 （社名）ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ㈱、PT. Ipposha Indonesia

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無

(3)発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期3Q	279,782,746株	2025年12月期	279,782,746株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	3,081,525株	2025年12月期	3,130,893株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期3Q	276,685,990株	2025年12月期3Q	276,576,129株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料７ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……2
（１）経営成績に関する説明……2
（２）財政状態に関する説明……7
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明……7

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記……8
（１）要約四半期連結財政状態計算書……8
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書…… 10
（３）要約四半期連結持分変動計算書…… 12
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書…… 14
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項…… 16
（継続企業の前提に関する注記）…… 16
（セグメント情報）…… 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高3,254億1千3百万円(前年同期比6.7%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比2.7%増)、事業利益257億6百万円(前年同期比15.2%増)、営業利益312億8千5百万円(同12.4%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益179億7千7百万円(同13.6%減)となりました。

当社グループは、「収益力の強靭化」をテーマに掲げる中期経営計画「Ｖｉｓｉｏｎ２０３０　２ｎｄ　ＳＴＡＧＥ」の3つの基本方針「事業ポートフォリオマネジメントの強化」、「経営基盤の強化」、「ダイナミズムの創出」にもとづく施策を、事業環境の変化に対応しながらスピーディに推進しています。

中東情勢の緊迫化を背景とした原材料価格の高騰により経営環境の厳しさが増す中、当社グループにおいても一部の原材料で調達コスト上昇等が生じていますが、一部製品の出荷価格改定を決定する等、通期の業績達成に向けて全社一丸となって取り組みました。

最重点事業であるオーラルヘルスケアでは、国内外において高付加価値品の育成に注力し事業の拡大に努めました。一方で、構造改革事業に位置付けていた化学品子会社2社の株式譲渡を6月末に完了する等、事業ポートフォリオ改革を着実に進めました。また、オーラルヘルスケアのスタートアップ投資に特化した米国のベンチャーキャピタルへの出資を決定するとともに、豪州の「Sukin」ブランドの日本国内における輸入・販売を行うSukin Japan株式会社を7月に設立し、11月の発売に向けた準備に着手するなど、新たな事業機会の創出に向けた取組みも進めました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	325,413		304,945		20,467	6.7%
事業利益	25,706	7.9%	22,320	7.3%	3,385	15.2%
営業利益	31,285	9.6%	27,829	9.1%	3,456	12.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17,977	5.5%	20,813	6.8%	△2,835	△13.6%

(注)　事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				事業利益			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	187,681	186,020	1,660	0.9%	16,440	15,857	582	3.7%
産業用品事業	36,076	43,416	△7,340	△16.9%	1,722	2,290	△567	△24.8%
海外事業	155,014	129,846	25,167	19.4%	9,951	5,595	4,355	77.8%
その他	6,398	7,746	△1,347	△17.4%	30	△113	143	―
小計	385,171	367,031	18,140	4.9%	28,144	23,630	4,514	19.1%
調整額	△59,758	△62,085	2,327	―	△2,438	△1,309	△1,128	―
合計	325,413	304,945	20,467	6.7%	25,706	22,320	3,385	15.2%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

＜一般用消費財事業＞

当事業は、「オーラルヘルスケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比0.9%の増加となりました。事業利益は、前年同期比3.7%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	187,681		186,020		1,660	0.9%
事業利益	16,440	8.8%	15,857	8.5%	582	3.7%

(注)　売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では26,635百万円、前第3四半期では25,817百万円となっております。

［売上高の分野別状況］

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルヘルスケア分野	61,618	57,020	4,598	8.1%
ビューティケア分野	19,738	19,829	△91	△0.5%
ファブリックケア分野	42,427	43,608	△1,180	△2.7%
リビングケア分野	14,726	17,800	△3,074	△17.3%
薬品分野	17,263	17,160	102	0.6%
その他の分野	31,907	30,601	1,306	4.3%

(注)　本年1月の組織体制の変更にもとづく業績管理区分の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より、従来、一般用消費財事業の「その他の分野」に含まれていたギフト・ノベルティ関連取引およびグループ内の一部内部取引を、商品カテゴリーごとに「オーラルヘルスケア分野」「ビューティケア分野」「ファブリックケア分野」「リビングケア分野」「薬品分野」に組み替えて表示しております。なお、前第3四半期連結累計期間についても、当該変更を反映したものに組み替えて開示しております。

(オーラルヘルスケア分野)

当分野は、「ハミガキ」、「ハブラシ」、「デンタルリンス」等で構成されています。

ハミガキは、「クリニカPRO(プロ) ハミガキ」が前年同期を大幅に上回るとともに、4月に改良新発売した「システマ ハグキプラス プレミアム ハミガキ」がお客様のご好評をいただいたことから、全体の売上も前年同期を上回りました。

ハブラシは、「システマ ハブラシ 極上プレミアム」や「クリニカアドバンテージ ハブラシ」がともに好調に推移し、全体の売上も前年同期を上回りました。

デンタルリンスは、「NONIO(ノニオ) プラスホワイトニング デンタルリンス」が好調に推移し、全体の売上も前年同期を上回りました。

以上に加え、歯科ルート向け製品の売上が伸長したことから、分野全体の売上は、前年同期比8.1%の増加となりました。

(ビューティケア分野)

当分野は、「ハンドソープ」、「ボディソープ」等で構成されています。

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用ハンドコンディショニングソープ」が前年同期を上回り、全体の売上も前年同期を上回りました。

ボディソープは、「hadakara(ハダカラ) モイストボディケアソープ 液体タイプ」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比0.5%の減少となりました。

(ファブリックケア分野)

当分野は、「柔軟剤」、「洗濯用洗剤」等で構成されています。

柔軟剤は、「ソフラン アロマリッチ」が前年同期を下回ったことから、全体の売上も前年同期を下回りました。

洗濯用洗剤は、蓄積したニオイや汚れを予洗いなしで徹底洗浄する「NANOX(ナノックス) 深層浸透洗浄」を新発売しましたが、昨年改良発売した「NANOX(ナノックス ワン) one」の反動減により、全体の売上は前年同期比微減となりました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比2.7%の減少となりました。

なお、新たな洗濯習慣の提案として、洗濯機にボールを入れるだけで、洗濯槽のカビ・ニオイ、衣類のしつこい生乾き臭を防ぐ「NANOX(ナノックス) 洗濯槽の防カビボール タテ型専用」を一部販売店にて発売し、計画比約3倍の売上を達成するなど、お客様のご好評をいただきました。

(リビングケア分野)

当分野は、「住居用洗剤」、「台所用洗剤」等で構成されています。

住居用洗剤は、浴室用洗剤「ルックプラス バスタブクレンジング」が堅調に推移しましたが、昨年発売した「ルックプラス トイレのまるごと除菌消臭くん煙剤」の反動減により、全体の売上は前年同期を下回りました。

台所用洗剤は、新習慣の提案として食洗機専用「CHARMY(チャーミー) クリスタ 予洗い専用泡スプレー」を新発売しましたが、「CHARMY(チャーミー マジカ) Magica」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上に加え、昨年10月に調理関連品ブランド「リード」を他社に譲渡した影響もあり、分野全体の売上は、前年同期比17.3%の減少となりました。

(薬品分野)

当分野は、「解熱鎮痛薬」、「点眼剤」、「ニキビ薬」等で構成されています。

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が前年同期を上回りましたが、スタンダード品の「バファリンＡ」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

点眼剤は、うるおいをとどめて目の渇き・不快感を改善する「スマイルコンタクトモイスト」を新発売しましたが、「スマイル40 プレミアム ザ・ワン」が前年同期を下回ったこともあり、全体の売上も前年同期比微減となりました。

ニキビ薬は「ペアアクネクリームW」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比0.6%の増加となりました。

(その他の分野)

当分野は、ペット用品等で構成されています。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が前年同期を上回るとともに、オーラルおやつ「PETKISS(ペットキッス)」が順調に推移し、全体の売上も前年同期を上回りました。

以上により、分野全体の売上は、前年同期比4.3%の増加となりました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤ用ゴムの防着剤等の「モビリティ分野」、二次電池用導電性カーボン等の「エレクトロニクス分野」、油脂活性剤等の「ライフケミカル分野」の3つの分野を中心に構成される化学品事業、および、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されています。本年6月末の化学品子会社の株式譲渡により、化学品事業の売上高は7月以降一部を除き発生しておらず、全体の売上高は、前年同期比16.9%の減少、事業利益は、前年同期比24.8%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	36,076		43,416		△7,340	△16.9%
事業利益	1,722	4.8%	2,290	5.3%	△567	△24.8%

(注)　売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では12,122百万円、前第3四半期では14,399百万円となっております。

業務用洗浄剤分野では、衣料用洗剤が前年同期を大幅に上回りましたが、調理関連品ブランド「リード」を他社に譲渡した影響により、全体の売上は前年同期を下回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア、オーストラリア等の東南・南アジア／オセアニア、中国、韓国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比19.4%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は9.4%の増加)となりました。事業利益は、前年同期比77.8%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	155,014		129,846		25,167	19.4%
事業利益	9,951	6.4%	5,595	4.3%	4,355	77.8%

(注)　売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では15,637百万円、前第3四半期では14,888百万円となっております。

［地域別状況］

(単位：百万円)

		当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
東南・南アジア／オセアニア	売上高	99,354	80,503	18,851	23.4%
	事業利益	7,282	4,851	2,430	50.1%
北東アジア	売上高	55,659	49,343	6,316	12.8%
	事業利益	2,668	743	1,924	258.8%

(注)　本年1月にオーストラリアが加わったことから、従来の「東南・南アジア」の表記を「東南・南アジア／オセアニア」に変更しております。

東南・南アジア／オセアニア全体の売上高は、前年同期比23.4%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は12.5%の増加)、事業利益は50.1%の増加となりました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比12.8%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は4.2%の増加)、事業利益は258.8%の増加となりました。

［主要国の売上高］

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
タイ	53,907	49,077	4,830	9.8%
マレーシア	24,733	20,764	3,969	19.1%
中国	24,591	21,584	3,006	13.9%
韓国	16,261	15,021	1,240	8.3%

(タイ)

洗濯用洗剤は、液体洗剤「Pao(パオ)」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ボディソープは、リニューアルを実施した「植物物語」が前年同期を大幅に上回り、全体の売上は前年同期も上回りました。

ハミガキは、配荷拡大に取り組んだ「システマ」が前年同期を上回り、全体の売上も前年同期を上回りました。

以上により、タイ全体の売上は、前年同期比9.8%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は0.8%の増加)となりました。

(マレーシア)

洗濯用洗剤は、「トップ」が液体洗剤を中心に好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ボディソープは、店頭での積極的なプロモーションにより「植物物語」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

以上により、マレーシア全体の売上は、前年同期比19.1%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は3.2%の増加)となりました。

(中国)

ハミガキは、「クリニカ」で新製品を発売するなど高付加価値品の拡売に注力し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ハブラシは、「システマ」が前年同期を下回り、全体の売上も前年同期を下回りました。

以上により、中国全体の売上は、前年同期比13.9%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は0.1%の増加)となりました。

(韓国)

洗濯用洗剤は、主力ブランド「BEAT(ビート)」のカプセル洗剤が前年同期を大幅に上回り、全体の売上も前年同期を上回りました。

足用冷却シートは、「休足時間」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

以上により、韓国全体の売上は、前年同期比8.3%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は3.7%の増加)となりました。

＜その他＞(建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	6,398		7,746		△1,347	△17.4%
事業利益	30	0.5%	△113	△1.5%	143	―

(注)　売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では5,362百万円、前第3四半期では6,979百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および資本の状況

(連結財政状態)

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
資産合計(百万円)	532,212	528,596	3,615
資本合計(百万円)	361,445	348,419	13,026
親会社所有者帰属持分比率(%)	63.0	61.1	2.0

資産合計は、のれんの増加等により、前連結会計年度末と比較して36億1千5百万円増加し、5,322億1千2百万円となりました。資本合計は、130億2千6百万円増加し、3,614億4千5百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は63.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月12日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

なお、通期の連結業績予想の前提となる想定為替レート(年間平均)は、本年8月7日に160円／米ドル（期首公表時点：155円／米ドル）、4.9円／バーツ（同：4.7円／バーツ）に変更しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	88,092	77,950
営業債権及びその他の債権	80,876	71,370
棚卸資産	54,133	59,848
その他の金融資産	25,322	26,187
その他の流動資産	5,539	5,099
流動資産合計	253,964	240,456
非流動資産		
有形固定資産	125,239	118,054
のれん	19,580	34,405
無形資産	31,509	34,216
使用権資産	28,839	29,868
持分法で会計処理されている投資	13,966	15,182
繰延税金資産	4,568	4,300
退職給付に係る資産	21,008	22,565
その他の金融資産	29,153	32,385
その他の非流動資産	766	776
非流動資産合計	274,632	291,755
資産合計	528,596	532,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	114,139	98,380
借入金	―	1,099
未払法人所得税等	6,583	8,761
引当金	2,724	3,325
リース負債	2,061	2,421
その他の金融負債	1,317	1,099
その他の流動負債	9,369	9,246
流動負債合計	136,196	124,336
非流動負債		
繰延税金負債	6,618	8,392
退職給付に係る負債	4,755	4,175
引当金	2,224	2,253
リース負債	26,189	27,681
その他の金融負債	2,354	2,109
その他の非流動負債	1,838	1,817
非流動負債合計	43,980	46,429
負債合計	180,176	170,766
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,419	31,474
自己株式	△3,304	△3,287
その他の資本の構成要素	27,987	30,143
利益剰余金	232,190	242,765
親会社の所有者に帰属する持分合計	322,726	335,529
非支配持分	25,692	25,916
資本合計	348,419	361,445
負債及び資本合計	528,596	532,212

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自　2025年 1月 1日 至　2025年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自　2026年 1月 1日 至　2026年 9月30日)
売上高	304,945	325,413
売上原価	△165,755	△174,520
売上総利益	139,190	150,892
販売費及び一般管理費	△116,869	△125,185
その他の収益	5,976	8,311
その他の費用	△468	△2,732
営業利益	27,829	31,285
金融収益	999	2,275
金融費用	△1,185	△858
持分法による投資利益	2,153	1,070
税引前四半期利益	29,797	33,772
法人所得税費用	△6,587	△12,835
四半期利益	23,210	20,937
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	20,813	17,977
非支配持分	2,397	2,960
四半期利益	23,210	20,937
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	75.25	64.97
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	75.18	64.91

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自　2025年 1月 1日 至　2025年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自　2026年 1月 1日 至　2026年 9月30日)
四半期利益	23,210	20,937
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	204	2,076
確定給付型退職給付制度の再測定額	1,818	1,449
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	18	△38
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,040	3,487
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	△1	―
在外営業活動体の換算差額	△2,812	△947
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2,813	△947
税引後その他の包括利益合計	△772	2,540
四半期包括利益	22,437	23,477
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,150	21,584
非支配持分	2,286	1,893
四半期包括利益	22,437	23,477

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自　2025年1月1日　至　2025年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
				その他の資本の構成要素		
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2025年1月1日残高	34,433	31,327	△8,730	50	10,687	―
四半期利益						
その他の包括利益					200	1,818
四半期包括利益合計	―	―	―	―	200	1,818
配当金						
自己株式の取得			△1			
自己株式の処分			194	△47		
自己株式の消却			5,234			
株式報酬取引		△31				
支配継続子会社に対する持分変動						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△402	△1,818
所有者との取引額等合計	―	△31	5,427	△47	△402	△1,818
2025年9月30日残高	34,433	31,295	△3,303	2	10,485	―

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計				
2025年1月1日残高	1	13,009	23,749	212,938	293,717	21,976	315,694
四半期利益			―	20,813	20,813	2,397	23,210
その他の包括利益	△1	△2,679	△662		△662	△110	△772
四半期包括利益合計	△1	△2,679	△662	20,813	20,150	2,286	22,437
配当金			―	△8,019	△8,019	△1,261	△9,281
自己株式の取得			―		△1		△1
自己株式の処分			△47	△39	106		106
自己株式の消却			―	△5,234	―		―
株式報酬取引			―		△31		△31
支配継続子会社に対する持分変動			―		―	45	45
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△2,220	2,220	―		―
所有者との取引額等合計	―	―	△2,267	△11,073	△7,945	△1,216	△9,162
2025年9月30日残高	―	10,330	20,819	222,677	305,923	23,046	328,969

当第3四半期連結累計期間(自　2026年1月1日　至　2026年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
				その他の資本の構成要素		
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2026年1月1日残高	34,433	31,419	△3,304	2	11,047	―
四半期利益						
その他の包括利益					1,903	1,449
四半期包括利益合計	―	―	―	―	1,903	1,449
配当金						
自己株式の取得			△1			
自己株式の処分			18			
株式報酬取引		54				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△1	△1,449
所有者との取引額等合計	―	54	17	―	△1	△1,449
2026年9月30日残高	34,433	31,474	△3,287	2	12,949	―

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計				
2026年1月1日残高	―	16,937	27,987	232,190	322,726	25,692	348,419
四半期利益			―	17,977	17,977	2,960	20,937
その他の包括利益		253	3,607		3,607	△1,066	2,540
四半期包括利益合計	―	253	3,607	17,977	21,584	1,893	23,477
配当金			―	△8,853	△8,853	△1,669	△10,522
自己株式の取得			―		△1		△1
自己株式の処分			―		18		18
株式報酬取引			―		54		54
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△1,451	1,451	―		―
所有者との取引額等合計	―	―	△1,451	△7,402	△8,781	△1,669	△10,451
2026年9月30日残高	―	17,191	30,143	242,765	335,529	25,916	361,445

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自　2025年 1月 1日 至　2025年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自　2026年 1月 1日 至　2026年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	29,797	33,772
減価償却費及び償却費	15,209	17,117
減損損失	59	209
受取利息及び受取配当金	△940	△1,079
支払利息	576	776
持分法による投資損益(△は益)	△2,153	△1,070
固定資産処分損益(△は益)	231	225
段階取得に係る差損益（△は益)	△4,476	―
関係会社株式売却益	―	△6,884
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	5,107	2,756
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,177	△9,210
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△14,926	△14,132
退職給付に係る資産及び負債の増減額	904	587
その他	△3,356	△1,007
小計	21,856	22,060
利息及び配当金の受取額	1,964	1,550
利息の支払額	△31	△210
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△13,460	△8,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,329	14,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,744	△2,570
有形固定資産の取得による支出	△15,415	△7,221
有形固定資産の売却による収入	13	1
無形資産の取得による支出	△869	△671
その他の金融資産の取得による支出	△558	△764
その他の金融資産の売却による収入	843	164
関係会社株式の取得による支出	△102	△119
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△17,931	△13,664
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	―	16,826
その他	△8	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,774	△7,974

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自　2025年 1月 1日 至　2025年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自　2026年 1月 1日 至　2026年 9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	―	1,473
長期借入金の返済による支出	―	△5,556
配当金の支払額	△8,028	△8,865
非支配持分への配当金の支払額	△1,261	△1,669
リース負債の返済による支出	△2,090	△2,227
自己株式の取得による支出	△1	△1
非支配株主からの払込による収入	45	―
その他	1	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,335	△16,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△937	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△39,716	△10,141
現金及び現金同等物の期首残高	102,240	88,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,523	77,950

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部および会社を基礎とした製品・サービス別および地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社グループの報告セグメントは、以下のとおりであります。

① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、ボディソープ、柔軟剤、洗濯用洗剤、住居用洗剤、台所用洗剤、解熱鎮痛薬、点眼剤、ペット用品

② 産業用品事業

主に日本において、化学品原料、業務用品等の製造販売および売買を行っており、海外諸地域への製造販売および売買も含まれます。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤

③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売および売買を行っております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本において当社の子会社が、主に当社グループ内の建設請負、不動産管理、人材派遣等を行っております。

(2) 報告セグメントの売上高および業績

前第3四半期連結累計期間(自　2025年1月1日　至　2025年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額(注)2	連結(注)3
	一般用消費財事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	160,203	29,016	114,958	767	304,945	―	304,945
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高(注)1	25,817	14,399	14,888	6,979	62,085	△62,085	―
計	186,020	43,416	129,846	7,746	367,031	△62,085	304,945
事業利益	15,857	2,290	5,595	△113	23,630	△1,309	22,320
その他の収益							5,976
その他の費用							△468
営業利益							27,829
金融収益							999
金融費用							△1,185
持分法による投資利益							2,153
税引前四半期利益							29,797

(注) 1　報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2　事業利益の調整額　△1,309百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3　売上総利益から事業利益への調整は以下のとおりです。

売上総利益	139,190百万円
販売費及び一般管理費	△116,869百万円
事業利益	22,320百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自　2026年1月1日　至　2026年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額(注)2	連結(注)3
	一般用消費財事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	161,046	23,954	139,376	1,035	325,413	―	325,413
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高(注)1	26,635	12,122	15,637	5,362	59,758	△59,758	―
計	187,681	36,076	155,014	6,398	385,171	△59,758	325,413
事業利益	16,440	1,722	9,951	30	28,144	△2,438	25,706
その他の収益							8,311
その他の費用							△2,732
営業利益							31,285
金融収益							2,275
金融費用							△858
持分法による投資利益							1,070
税引前四半期利益							33,772

(注) 1　報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2　事業利益の調整額　△2,438百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3　売上総利益から事業利益への調整は以下のとおりです。

売上総利益	150,892百万円
販売費及び一般管理費	△125,185百万円
事業利益	25,706百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。